

電気電子情報工学部会々報

http://www.kgudenki.jp

No. 36
発行責任者
岡田 光晴



2013年度 関東学院大学 工学部 電気電子情報工学科 卒業祝賀会
於 横浜市教育会館

部会長挨拶



会長 岡田 光晴
(電気'69年度卒)

部会会員の皆様には日頃よりご支援、ご協力
いただきありがとうございます。本年度もよろ
しくお願いいたします。

さて、当部会では昨年度より就職支援活動の一環として、電気関係OB企業と電気系学生及び教員の交流会を実施しました。交流会のねらいは、現役学生が企業説明会及び参加企業の人事担当者やOBとの懇談を通して、業界や企業固有の内容を理解することにあります。今回は初めての試みということもあって、参加企業は8社とまだまだ少ない状況ではありましたが総勢100名を超える参加をいただきました。学生や教員からの関心は高く企業の人事担当者やOBに積極的にアプローチする姿が見受けられました。この交流会が、これからの就職活動に少しでも役にたてればと期待をしているところです。また、電気系は幅広い分野に活躍の場があります。今後は多くの分野、多く企業に幅を広げてまいりたいと考えておりますので、OBの皆様のご協力を切にお願いいたします。

本年度は燦葉会本部及びサポートクラブとも

連携を図りながら、学生の出口の部分に軸足を向けてまいります。その支援を行うに当たって当部会とOBの皆様との強力な連携が重要と考えております。そのためにも部会として今年度も同期会開催の支援や総会開催時7学年合同同期会を開催し、OB相互の交流の場の充実を図ってまいります。特に各卒業年度の同期会開催については積極的に行っていただきたいと思っております。開催に当たっては是非当部会(燦葉会事務局)にご一報いただければ幸いです。

おわりに、これからもOBの皆様のご意見をいただき活発な部会活動行ってまいりたいと考えております。また、毎回お願いで恐縮ではございますが、「会費納入のお願い」につきましてもご理解いただき、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

KGU44年度電気同期会の開催案内

関東学院大学工学部電気・電子工学科44年度卒の同期会を、次のとおり開催いたします。当日は「川上先生、水寄先生、松本先生、伊地知先生」をお呼びする予定です。都合を付けて出席頂きたいと思っています。

日 時: 2014年10月3日(金) 13:50集合 (チャペル)
内 容: 大学の近況や就職状況などの説明
見学会: オリーブ・テクノセンター
 建築・環境学部、看護学部
懇親会: 16:00開始
会 費: 6,000円

対象の方には別途連絡しておりますので、そちらも参照して下さい。

理工学部理工学科電気学系、工学部電気電子情報工学科の近況について

電気学系長 箕 弘幸

卒業生の皆様、ご無沙汰致しております。というよりは、はじめまして、と申し上げるほうが適切かもしれません。卒業生の方が多いかもしれません。本年度4月より理工学部理工学科電気学系の世話役を仰せつかりました、箕弘幸(みの ひろゆき)と申します。誠に非力ながら、本学奉職前に日本で3校、アメリカで3校の大学で培った経験を活かし、皆様の母校をより発展させるため、精進してまいりたいと考えております。

さて、恒例ですが、学系、学科の近況をお知らせいたしたく存じます。2014年度4月の段階で電気学系の学部生入学者数につきましては、電気・電子コース53名(定員48名)、健康・スポーツ計測コース20名(定員20名)、計73名であり、電気学系、及び電気電子情報工学科の在籍者総数は、331名となりました。一方、大学院工学研究科電気工学専攻への入学者数は、博士前期課程2名であり、前期課程の在籍者総数は10名、後期課程は6名となりました。なお、2013年度には、博士後期課程修了者、関 健二君(井原研)、

渡邊洋平君(加藤研)の両名を輩出致しました。

教員の人事異動につきましては、中野幸夫先生が新任の教授(大学院工学研究科電気工学専攻博士前期課程指導教授、博士後期課程指導教授兼任)として4月1日に着任されております。中野先生は電力中央研究所において、永年、送配電を中心に研究実績を積まれてきており、電気プロパーの先生をこの度お迎えすることに教員一同の喜びも一入です。また、植原弘明教授は、4月1日より、米国コネティカット州のコネティカット大学にて1年間の予定でサバティカル研究を遂行しております。一方、山崎洋一助教(ロボットコース担当)が2013年9月末日を以て転出いたしました。

電気学系は、現代社会のインフラの一端を担っている電気電子分野、そして超高齢化時代の到来に備えた健康・医療機器や健康増進のためのスポーツ科学分野、及び関連教育を行っています。次の世代の若人らが、キリスト教教育を礎に、電気・電子分野、健康・スポーツ計測分野は勿論、理工学部の他の分野の知識を横断的に学び、専門分野の境界に囚われない幅広い教養と知識を修得して、社会にとび立てるよう、教職員一同尽力いたしております。改めまして、今後とも、卒業生の皆様からの厚いご支援とご協力をお願い申し上げます。

2013年度の年会費・E&C育成基金納入についてのお知らせ

会計幹事 小川 博芳(電気77年度卒)
田中 高洋(電気99年度卒)

同窓生の皆様お元気ですか、6月14日にKGU関内メディアセンターM806にて評議員会が開催され、2013年度の事業及び収支決算、2014年度の事業計画、予算案が可決承認されました。年会費は149名、E&C育成基金は39名(40口)から納入頂きました。誠に有難う御座いました。

2011年3月11日の東日本大震災、原発事故とその爪跡は今も残り、世界の情勢も不安定です。このような時期だからこそ、「人と人との支えあい」を大切にした社会構造が求められると思います。2014年度は震災後の復興に向けて更なる日本全体が一致団結がんばる年です。

電気電子情報工学部会としても、大学、同窓会、在校生が丸となる活動を実施すべく皆様の積極的な活動参加に期待しております。活動については部会のホームページをご覧ください。

2014年度も引き続き在校生の論文・研究発表に奨励賞として図書カードの贈呈を致します。論文奨励賞、研究発表奨励賞は在校生の励みとなり、また同窓会との相互の親睦が図れることで継続を強く推進したいと思っております。近年は同窓会の活動に在校生の学生会から積極的に参加をしてくれれますので、先生、在校生と同窓生等相互の親睦が計られ充実してきたと思っております。

また、近年は少子化、経済状況等により受験生の減少、卒業生の就職難も聞かえております。1月の賀詞交歓会時には在校生との懇談に期待し、皆様のご協力の程よろしくお願いいたします。

同窓生の皆様には、年会費、E&C育成基金納入に対し、お礼を申し上げますと共に、これからも同窓会活動にご協力をお願いいたします。

なお、年会費、基金納入者氏名を別刷りに掲載させて頂きました。

年会費 2,000円

郵便振込口座番号

0025013122193

加入者名

関東学院大学燦葉会

電気電子情報工学部会

年会費の納入には次の方法でお願いいたします。

- 1、同封の払込取扱票により郵便局にてお振り込み戴く方法。
- 2、OB会の各イベント開催時、現地にて現金納入を戴く方法。

同期会援助金支給について

燦葉会電気電子情報工学部会では、会員の横の繋がりがりである同期会開催を援助することにより、部会活動そのものを活性化することを目的としています。

同期会を開催する幹事は、予め計画する同期会の内容(卒業年度、開催日時、場所、参加予定人数等)を書面(様式は定めない)に記載し、**燦葉会事務局**を通じて、**部会長宛に提出**をお願いします。開催前に申請が出来なかった場合は、事後速やかに実施した結果を提出し、申請して下さい。

同期会援助金の詳細については、部会ホームページのトップページ左側『同期会内規について』に記載されていますので、そちらを参照して下さい。

なお、不明な点がありましたら、部会メールアドレス

kami@kgudenki.jp
までご連絡下さい。

部会だより(電気電子情報工学部会)

新卒業生の声

■大学での研究について

小山 裕昭(電気'13年度卒)

私は、大学の卒業研究の一環で分野・地域を超えた実践的情報教育協働ネットワーク(通称 enPr) というイベントの組み込みシステム分野(通称 PEARL)に参加し、Kobuki という掃除ロボットを利用して、プロジェクトマネジメントの方法や組み込みシステムの現状や開発特性などを学びました。また、夏には PEARL のイベントの一環として ESS ロボットチャレンジというロボットを使った大会や、秋には組み込みシステムシンポジウムの枠組みの中でポスター展示も行いました。このようなイベントに参加してもっと勉強したいと思ったため大学院へ進学することに決めました。



大学の卒業研究では、マルチエージェントに関する研究を行う環境の構築、及び、構築した環境の検証のため複数のエージェントによる追従動作の構築を行いました。使用するエージェ

ントには PEARL の時に教材として使用した「Kobuki」にモーションキャプチャデバイス「Kinect」と制御用のノートPCを1台搭載したものを複数使用し、Kobuki 制御用ソフトウェアである「Ihikobuki」や Kinect 制御用ソフトウェアである「OpenNI」を使用し開発しました。結果として、先頭エージェント1体と後方エージェント2体の計3体を使用した追従動作の構築に成功したことから研究環境の構築を完了させました。

今回作成したプログラムでは、それぞれのエージェントが独立制御されているため、先頭のエージェントが1体いれば後方のエージェントを何体でも追従することが可能となります。

大学院では、再び PEARL と電気学会の C 部門大会に参加し、大学院の研究では追従動作のプログラムに学習を組み込みさらに複雑なマルチエージェントシステムを構築したいと考えています。

(電気学会東京支部電気学術奨励賞 受賞)

■社会人になって感じたこと

新田 弘輝(電気博前'13年度卒)

早いもので大学院を卒業して数ヶ月が経ちました。お金を払っていた立場から、貰う立場へと変わり、学ぶ姿勢をとっても、「教えてもらう」という姿勢から、「自ら学ぶにいく」という姿勢



中央が新田弘輝君

へと、様々なことが変化しました。中でも「時間」に関しては、一分一秒であっても「時間」を過ぎてはならないなど、大変厳しくなりました。当たり前のことではありますが、新卒研修を通して、早速成長できた部分だと思います。

その一方で、あまり変わらないと思うこともあります。それは友達と過ごす時間です。大学生だったときに比べると会う回数は減ってしまいましたが、一緒にいる間は学生に戻ったような気分になり、気持ちがあすぐらくになります。これから先、たくさんの壁に当たっていくと思いますが、お互いに支え合えるような関係でいられたらなと思います。

これまでに、たくさんの方々を支えられここまで成長させて頂きました。その感謝の気持ちをいつまでも忘れず、日々成長し、立派な社会人として、社会に恩返しができるよう精一杯努めていきます。

(燦葉会電気電子情報工学部会 論文奨励賞 受賞)

部会活性化活動

— 合同同期会の開催 —

部会活動活性化担当

池岸 茂(電気'82年度卒)

昨年度は部会活性化活動に「興味を持って頂き」「参加して頂き」「支援して頂く」ことを目的に、

①5 学年合同同期会(1980~84 年度卒+教員OB)を開催

②①の希望者間で情報交換(名簿、機関紙、写真、大学情報等)

③会費納入会員(2012 年度)への情報送付を行いました。

この中で、同期会開催にあたっては、各学年の有志の方(和智常政、大川義弘、島津豊、金子修、高橋満、南里畜生、風間一浩、山田篤史、白川賢一、安部修、石渡勲さん他)に、大変なご協力を頂きました。ありがとうございました。今年もやります。

1. 7 学年合同同期会: 同期会参加や情報交換は無料です。対象の方は、まず、ご登録下さい。

(1) 対象者

1970~74、1994、2004 年度卒(卒業後10、20、40~44 年目、および32、42、62~66 才になれる方)

(2) 実施内容

①同期会の開催(総会と合同)

②名簿、機関紙作成、情報交換

(3) 登録方法

卒業年度と氏名を記したメールを送付して下さい。

送付先: 部会メールアドレス

kani@kudenki.jp

2. 情報送付: 会費納入会員(2013 年度)への情報送付

です。是非、ご注目下さい。

なお、同期会を併設しております「総会」は、申し込み不要、参加費無料、卒業生なら何方でも参加できます。

皆さんの参加を初め、三二同期会や、懐かしい仲間と落ち合う場等に活用頂くことをお待ちしております。